

高子二十境巡いの紹介

景観と史跡をめぐる

高子沼を楽しむ会

高子の風景…阿武隈急行高子駅



○高子の眺望・・里山に広がるぶどう畑



○高子の名勝・史跡 | …伊達氏発祥の地



高子ヶ岡館跡・亀岡八幡宮

○高子の名勝・史跡Ⅱ
熊阪家三代の墓碑(霸陵・台州・盤谷)



高子二十境

熊阪霸陵が白雲館から眺める風景、散策しながら発見した奇岩等の景勝地を、中国長安の「網川二十境」に倣って、称する。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|-----|--------------|-----|--------------|--------------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 二十 | 十九 | 十八 | 十七 | 十六 | 十五 | 十四 | 十三 | 十二 | 十一 | 十 | 九 | 八 | 七 | 六 | 五 | 四 | 三 | 二 | 一 |
| 古樵丘
(扈從山) | 白雲洞
(瑠璃窟) | 愚公谷
(可樂澤) | 禹父山
(蔚遲山) | 雩山
(請雨山) | 白鷺峰
(羽黒峰) | 走馬嶺 | 返照原
(遍照原) | 拾翠崖 | 不羈坳
(的場坳) | 高子陂
(鷹雛陂) | 隱泉
(赫連泉) | 狸首岡 | 將歸阪 | 歸雲窟 | 採芝崖 | 龍脊巖 | 長嘯嶺 | 玉兔巖 | 丹露盤 |

(字)愚公谷から高子を眺める

丹露盤

古樵丘

白雲洞

返照原



大柳に向かう

白鷺峰

雫山

走馬嶺



丹露盤



箱崎側から見る丹露盤



○高子陂…高子沼



高子沼…用途は農業用ため池 以前は桜の名所・ボートが浮かぶ

※ 伊達政宗が金の精錬所を隠すために水没させ、沼にしたという伝説も

高子陂・・・高子沼の遊歩道



拾翠崖

一周1200mの遊歩道が整備。ウォーキングに、釣りに楽しむ。

白鷺峰



高子沼から白鷺峰を望む

半田山



白鷺峰から高子沼と半田山を望む

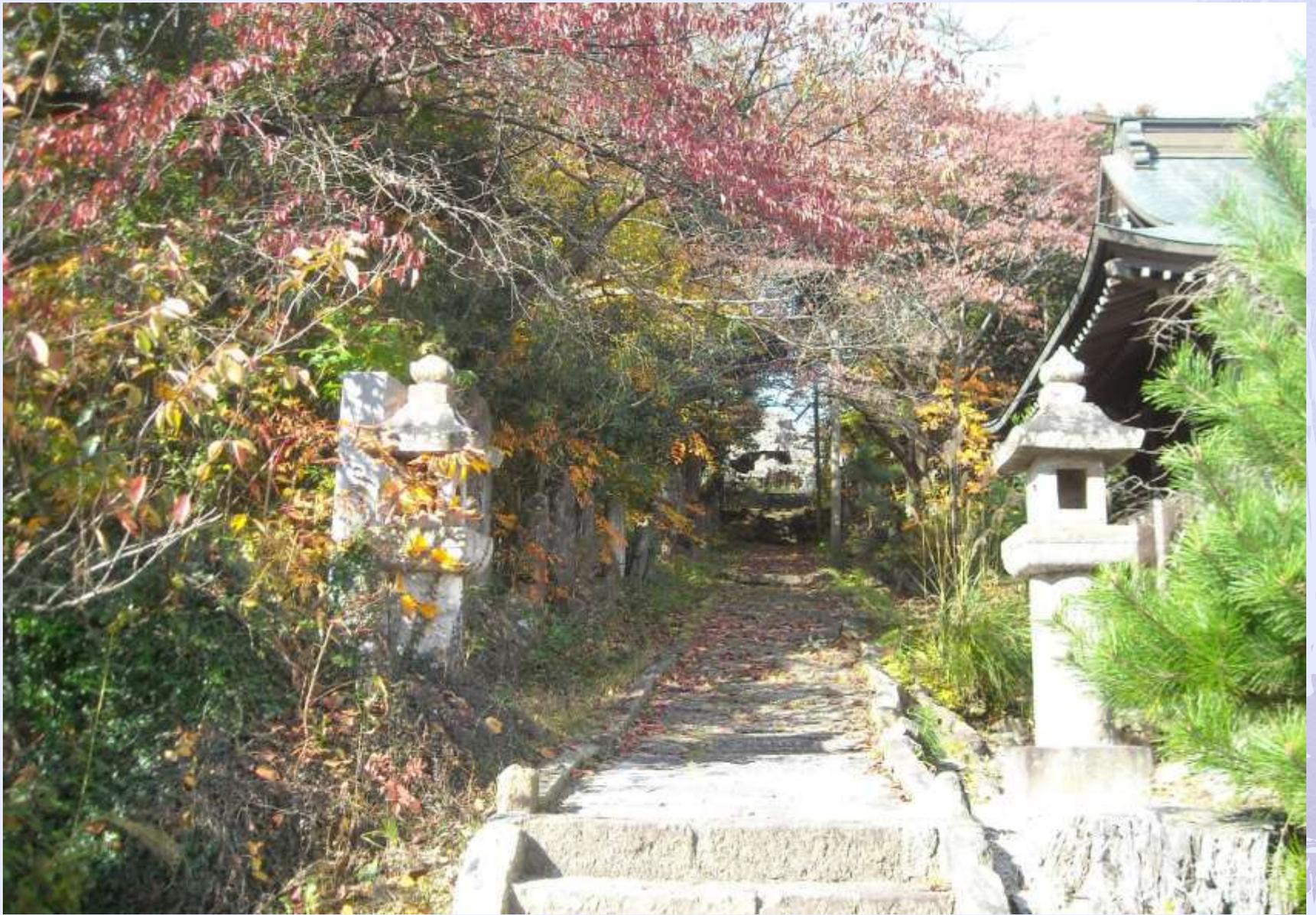
(字)狸首岡・・・丘陵に広がるぶどう畑



白鷺峰

白雲洞





淡島神社の側の白雲洞への参道

白雲洞の祠（中世の民間信仰の霊場）



古樵丘



永慕編 二十境圖并詩

白雲館・熊阪家三代・霸陵、台州、盤谷の館

江戸中期の儒学や漢詩文学の学問所

(蔵書が一万冊に及ぶとも)

- 信達地方の多くの門弟が学ぶ
非武士階級の農・医・商の知識人たち
- 江戸とも交流し、全国から漢詩が寄せられる

「永慕編」の編集

霸陵が名づけた二十の景勝地で親子三代が詠んだ漢詩
画家「谷文晁」の挿絵

⇒ 二十境の墨画と漢詩

熊阪台州先生編著

不許翻刻
十里必究

永慕編

江都 書肆 藻雅堂

題永慕編首

昔者祖徠氏之無也。唱古文，
窮風靡。海內從游之士。若藤
東璧。縣考孺服子。遷太宰。德
夫等。其最傑出者。而與人善。每
山人。平字。知。能。以。肩。為。子。



白雲洞

白雲洞 一里外
晴窗

蕭陵翁

高臥白雲洞。開眼對落暉。欲還出洞口。忽見白雲飛。

同前 熊阪邦

朝見白雲迎。暮見白雲送。朝暮白雲在。余將是此洞。

同前 熊阪秀

獨步幽洞。造山中。秋色夕丹。楓樹遺于白雲留。過水。